

— 第9回 「社会を明るくする運動」 から —

建設事業急ピツチ

山ノ口海岸堤も近く着工

1 明るい家庭、住みよい社会を作ろう

2 犯罪者の矯正、刑余者の更生に協力しよう

3 青少年に希望を与える社会を作ろう

を目標に、種々の行事を実施した。

とくに十五日の犯罪予防対策協議会は、官公署団体長約二百人が集り、研修と話し合いを行った。話し合

昭和三十四年度の建設事業予算は、学校建築費、失業対策事業費、住宅費などひつくるめて約四千万円、総予算の半分を占めており既に完工したもの、進行中のもの、これから着工するものと、近年になく活気立っています。

最近完成したものでは、1、桜原線石垣工事
延長二三メートル

追加予算など決める

七月の町議会

第五回定期例町議會（一部
前号既報）は七月十日日本
議を開き、次の議案を審議
決定しました。

◎給与条例の改正

——原案可決

※國家公務員に準じて、主
として中級以下の職員に給
与の改訂を行い、夏期手当
を○・一五ヶ月分増額する

◎人権擁護委員候補者の選
任について——原案可決

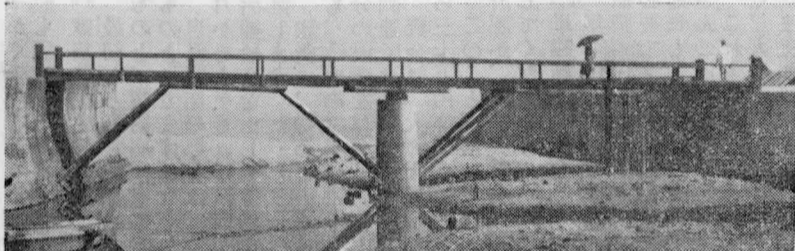
※さきに死亡された吉永勝
剛氏の後任に原口吉藏氏を
選任

◎公営住宅債の増額につい
て——原案可決

◎第一回追加更正予算

——原案可決

※おもに給与改訂による経
費である。



電気事故をなくしよう

六反田 長谷 勇 造

こゝ一年足らずのうちに、城元地区だけで三ヶ所の火事がありました。が、私は一電気工事業者として、町民のみならず、電気の乱用危険防止に、御協力をお願いいたします。近ごろの電化は田舎の隅々までゆきわたり、電気釜、湯沸し、テレビ、洗濯機など、大変な用で思わぬ事故を起すこともあり、また、故障修理に素人が電柱にのぼり、取りかえしのつかない災難にあらうこともあります。

また、みだりに個人でビニールコードで仮工事をして大事をひき起したり、家屋の改造、増築などのとき勝手に引込線を切つて感電の地。その他の電気の工事。電線所か、町内四人の電気工事業者に必ず御相談下さつて、おたがいに、火災その他の事故が起らないよう、御協力を切にお願いいたします。

◎ だらう、よからう事故のもと

◎ 念を入れて、よりよき注意

野球、登山、テニスなど

町体協夏の行事決る

真夏の町に大きな話題を呼ぶ恒例の野球大会を中心とする、夏の体育絵巻が、今年も八月から九月にかけて、盛大に行われることになった。

町体協では、さきに理事会を開いて、夏の行事について話し合い、次の日程によつて開催することを決めた。

大会名	期	日(時刻)	会場
野球大会	八月八、九	日八日午後一時	高校大根占小グラウンド

科学的な経営目ざして

青年商工研究会生る

若い者の力で、商工業の発展を計ろうと、このほど町青年商工研究会が誕生しました。いまのところ、まだ会員は十二名、会長に長浜勝郎、副会長に山王寿夫さんが就任、会員は、二十才から三十五才までで、科学的な経営の研究と商店街の発展を目ざして、店主教室、店員学級の開設、機関紙の発行、公園の整備、与

論の設置などの事業を計画しています。

とくに「買物は地元で」の運動を強くおし進めることとし、そのための消費者のアンケート調査や、婦人会との懇談会を行うこととされていますが、最近、都市部業者の出張販売の進出が目立っている折柄、全町民の協力が強く望まれています。

とき八月十九日ヨル
ところ大根占小学校

町青年商工研究会

主催	大根占町商工会
町婦人会	町青年団
町連絡協議会	町連絡協議会
町教育委員会	町公民館
後援	



※小学生以下に多い水の事故

警察広報板

町民のみなさまへよろしくお伝え
くださいと便りがありました。
村山隼人氏（別府市亀川町国立
別府病院11棟）
◎三十一年八月、十四年ぶりにシ
ベリヤから帰国以後療養中
貴島隆敏氏（RT2、BOX456
DELANO、CALIF

※交通規則がかわりました

きことであると同時に供に話せば、当然起らなかつた
びに関心を寄せていたので、お互いが直剣に考え次の事
問題でありますので、お互いが直剣に考え次の事
柄に注意して戴きたいものです。

○子供を一人で水遊びにやらない。

○子どもの水泳には必ず適当な監視人をつける。

○定められた水泳場で泳がせるようにする。

○危険区域を指定してそこに出入らせない。

○水に入る前の準備運動や泳ぎの時間が長くなら
ないようにつける。

○食後やばげしい運動の直後には泳がせない。

○泳げる人でも自分の力を過信しない。

○子どもの行先は必ずはつきりゆせておく

なにはともあれかねてのシツケが一番大切です

夏季になりますと暑さ疲労等によつて交通事故の発生が多くなりますので、よく睡眠をとつて事故のない運転をするようにしましょう。

道路交通取締規程が県道路交通取締規則と改められ七月一日から施行することになりました。

★交通量の多いところでラジオをかけながら運転はできません。

★ゲタ(木製サンダルを含む)を履いて運転はできません。

★第二種原動機付自転車(バイク、モーター)には車の長さ幅〇、八メートル、重量は九〇キロ以上、座のものを乗せてはならない。自転車や原動機付自転車にリヤカーをつけるときはリヤカーに〇、三メートルを加えた長さ高さ一、五メートル、重量は一八〇キロ以上の荷物を積んではならない。

★いままでは道路で行う競技で警察署長の許可をうけなければならぬのは自転車競走と自動車競走だけであつたがこれに新しく徒歩競走が加えられました。

